

ユニック部門：ユニッククレーン新型 G-FORCE を発売 ～高機能制御を標準装備、自動水平アウトリガを新オプション設定～

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、ユニック部門を担う古河ユニック株式会社（本社：東京都千代田区、社長：菅野 悌二）は、トラック搭載型クレーン『ユニッククレーン 新型 G-FORCE（2026 年モデル）』を開発し、本日より販売を開始します。

新型 G-FORCE は、従来一部仕様に限定していた高機能制御「新・フック平行モード」と「新・対地平行モード」を標準装備したことが特長です。全機種において、クレーン作業時のつり荷の動きを把握しやすくし、操作性と作業効率の向上を図りました。

あわせて、新オプションとして「自動水平アウトリガ」を設定しました。縦アウトリガを自動で張り出し、車両を水平に調整することで、クレーン作業に必ず必要なアウトリガ設置作業の効率化と安全性向上に寄与します。

このほか、高機能制御オプションとして「直交動作モード」と「記憶動作モード」を追加しました。ハイアウトリガ仕様では、アウトリガを遠隔操作できる「アウトリガラジコン」を標準装備しました。三色灯の LED 化やブームステッカデザインの変更により、視認性とデザイン性も高めています。

古河ユニックは、今後も、お客さまのニーズに応える製品の開発・提供を通じて、現場における安全性、操作性および作業効率の向上に貢献していきます。



新型 G-FORCE（2026 年モデル） URG374AWNQ2

販売製品一覧

■販売製品一覧（製品ラインアップ、架装諸元は従来機から変更はありません）

小型ユニッククレーン	URG260AS シリーズ（3,4 段ブーム）、URG260A シリーズ（3～5 段ブーム）、 URG290A シリーズ（3～6 段ブーム）、URG290AW シリーズ（3～6 段ブーム）、 URG260AH シリーズ（3～5 段ブーム）、URG290AH シリーズ（3～5 段ブーム）
中型ユニッククレーン	URG340A シリーズ（3～6 段ブーム）、URG370A シリーズ（3～6 段ブーム）、 URG370AW シリーズ（3～6 段ブーム）、URG340AH シリーズ（3～6 段ブーム）、 URG370AH シリーズ（3～6 段ブーム）
大型ユニッククレーン	URG500AS シリーズ（3～4 段ブーム）、URG500A シリーズ（3～7 段ブーム）、 URG500AH シリーズ（3～7 段ブーム）

※販売価格につきましては、仕様・架装内容等により異なるため、古河ユニック販売会社までお問い合わせください。

主な特長

(1) 高機能制御を全機種に標準化

従来は一部仕様に限定していた高機能制御の「新・フック平行モード」「新・対地平行モード」を、全機種に標準装備しました。これにより、クレーン操作時の作業姿勢やつり荷の動きを把握しやすくし、作業効率と操作性の向上を図っています。

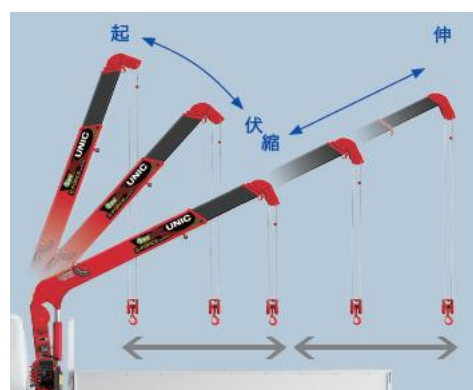
<機能説明>

新・フック平行モード：ブームの伸縮操作にフックが連動し、ブームトップとフックの間隔を意識することなく、高所への荷上げ作業などを円滑に行えます。クレーン操縦者の負担軽減にも貢献します。

新・対地平行モード：ブームの伸縮操作に加え、起伏操作時にもフックの動きを連動させることで、つり荷の高さをほぼ一定に保ちます。重量物の据え付け作業などにおいて、衝突や破損リスクの低減に貢献します。



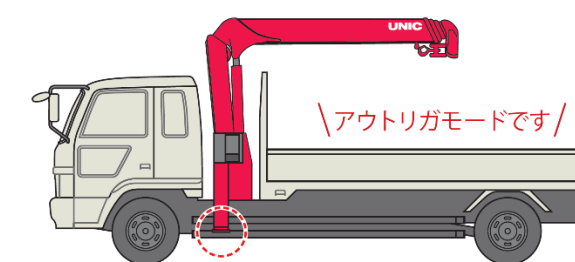
新・フック平行モード



新・対地平行モード

(2) 新オプション「自動水平アウトリガ」を設定

新オプションとして「自動水平アウトリガ」を設定しました。ワンアクションで車両の前輪が軽く接地する適正な張出状態となるよう、水平を調整しながら縦アウトリガを自動で張り出します。また、作業終了時の格納もワンアクションで行えるため、設置から撤収までの作業時間短縮に貢献します。

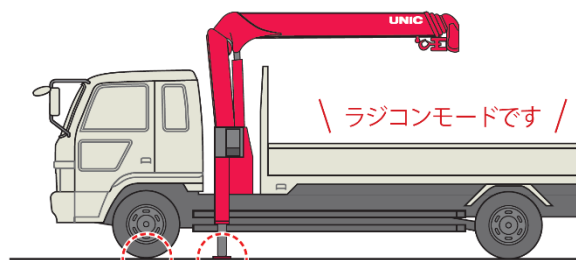
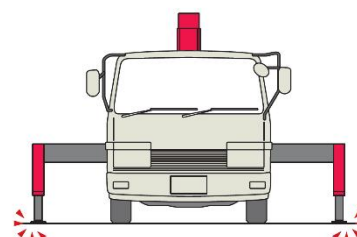


未接地状態を検知!

①「アウトリガモード」で自動起動



②自動で水平にアウトリガ縦張出



前輪が軽く接地の適正張出!

③「クレーンモード」に自動切換【特許出願中】

〈問い合わせ先〉

・ニュースリリースに関して
・製品に関して

古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR 課 TEL : 03-6636-9501

古河ユニック株式会社 国内営業部 営業推進課 TEL : 03-6636-9524

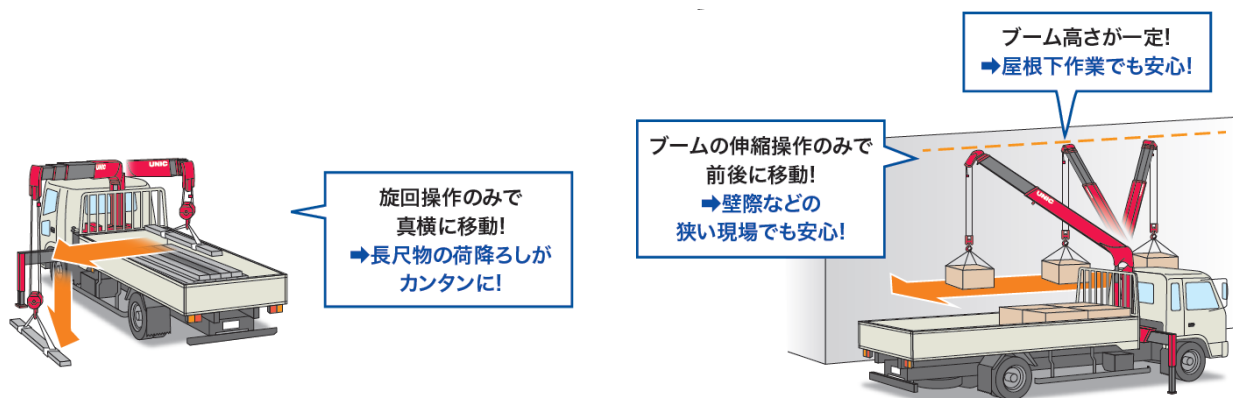
(3) 高機能制御オプションを拡充

高機能制御オプションとして、「直交動作モード」と「記憶動作モード」を追加しました。作業内容や現場条件に応じた操作を支援し、より直感的で効率的なクレーン作業を可能にします。

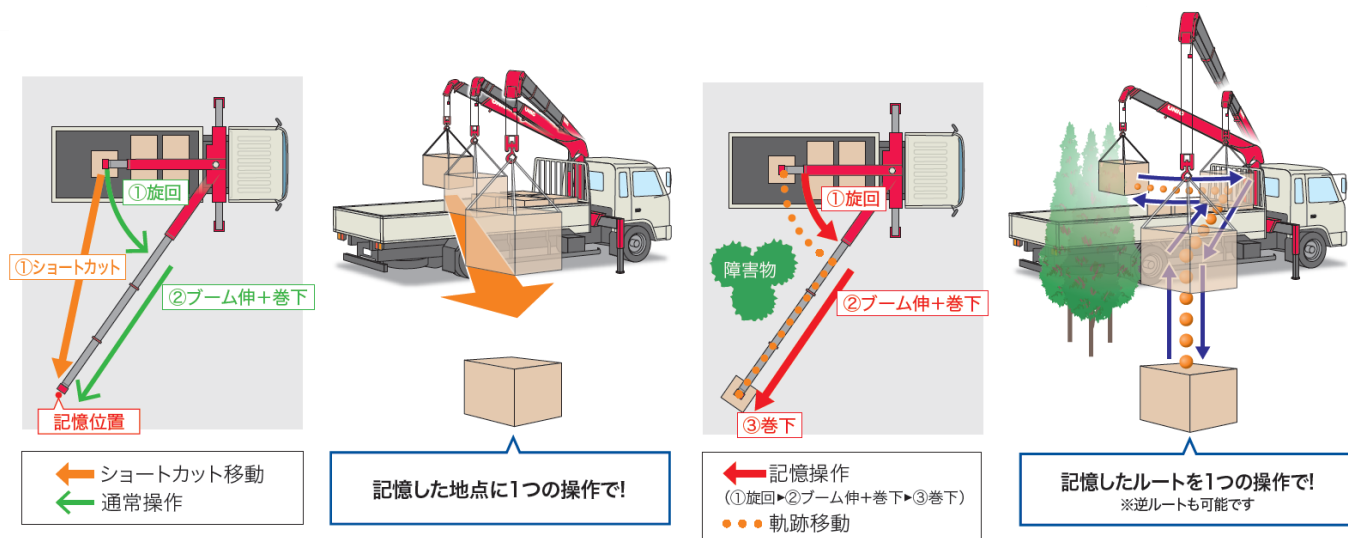
<機能説明>

直交動作モード：天井クレーンのような直線的な動きで荷を移動でき、狭小な現場での作業にも有効です。

記憶動作モード：フックの位置やクレーンの動きを記憶し、繰り返し作業の効率化に寄与します。



直交動作モード



記憶動作モード（ショートカット移動／軌跡移動）

(4) ハイアウトリガ仕様の利便性を向上

建設機械の搬送などで有用なハイアウトリガ仕様では、手元のラジコンでアウトリガを個別に遠隔操作できる「アウトリガラジコン」と、ハイアウトリガを同時に伸縮できる操作スイッチ（助手席側）を標準装備しました。これにより、作業状況に応じた操作性を高め、利便性の向上に貢献します。

(5) 視認性・デザイン性を向上

ブームステッカは、「安心」と「便利」を高める機能向上をドット柄で表現したデザインへ刷新しました。また、三色灯の LED 化により、視認性および省電力性の向上を図っています。

【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】(東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715)

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 4 部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門、アーステクニカ部門）と素材事業 3 部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875 年（明治 8 年）8 月

設立：1918 年（大正 7 年）4 月

資本金：282 億 818 万円

従業員数：〈連結〉2,883 人 〈単独〉207 人 [2026 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawakk.co.jp/>

【古河ユニック株式会社】（古河機械金属株式会社 100% 子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：菅野 悌二

事業内容：1961 年に国産初の車両搭載型クレーン「ユニッククレーン」を開発。ユニッククレーンは、トラックに搭載することで「吊る・積む・運ぶ・作業する」の一連の作業を効率化した荷役機械です。現在ではユニッククレーン、ミニクローラークレーンなどの製造・販売を行っています。

設立：1946（昭和 21）年 4 月

資本金：2 億円

従業員数：479 人 [2026 年 3 月 31 日現在]

WEB サイト：<https://www.furukawaunic.co.jp>